

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年5月14日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障制度改革国民会議 パフコメ 道内でもすすむ！
締め切りは 15日(水) 17時 まだ間に合います。応募を！

社会保障制度推進国民会議が、今後の社会保障（考え方、年金、医療、介護、子育て）について、パブリックコメントをしています。締め切りは15日（水）17時です。この間、国民会議では、改悪勢力の意見は聴取してきましたが、国民の声は反映していません。道内でも、国民の切実な声を届けようと、応募が広がっています。まだ間に合います。道民の切実な社会保障、医療、介護、年金、子育ての意見を届けましょう。詳しくは <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/iken.html>



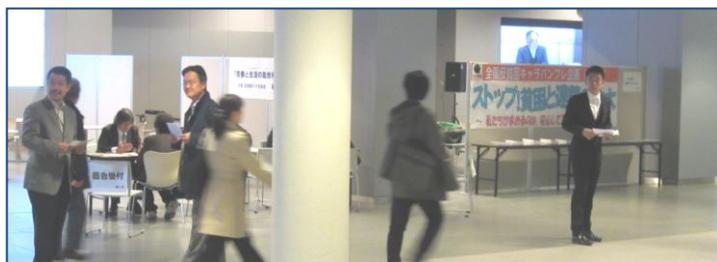
「制度保障も財源も、国と地方公共団体が保障すべきです」（北海道保育連）

北海道保育団体連絡会でも、「私たちの意見」としてまとめて、①基本的な考え方、②少子化対策について、提出しています。

「回りにも呼びかけて、切実な願いを届けよう 総会で確認」（札幌豊平社保協）

札幌豊平社保協は、5月11日（土）の総会で、回りの方にも呼びかけて、応募を広げることを提起しました。早速、「年金が引き下げられて大変」「自宅にFAXのない方からの意見も送付します」など、取り組みが広がっています。

貧困をなくそう！所持金0で数日食事をしていない青年も 相談会
反貧困ネット北海道 5月11日 全国反貧困キャラバン・プレ企画 in 札幌



5月11日、反貧困ネット北海道は、今年の全国反貧困キャラバンのプレ企画として、地下歩行空間で、二つのミニ学習会と映画「ブラック企業にご用心！」(3回)上映を行いました。学習会では、北海学園の川村雅則准教授から「札幌発 なくそう官製ワーキングプア！公契約条例の早期制定！」、北星学園大学の木下武徳准教授から「日本

の生活保護っていい？海外と比べて」と題して講演が行われ、映画とあわせて延べ200人が参加しました。また並行して相談会も行われました。今回はじめて土曜日に行いましたが、若者から高齢者まで18人から21件の相談が寄せられました。「生活相談」7件・「法律相談」5件・「労働相談」4件・「医療相談」4件・「心の相談」1件でした。

特徴的な相談

24歳男性 千葉で働いていたが仕事なくなり、親がいる札幌に4月30日に戻ってきた。親には頼れず、住む家がない。所持金ゼロ。数日間食事していない。歩いて過ごしていた。

48歳女性 生活保護利用者で、生活保護費では、娘の就学旅行と息子の校外学習のお金がつくれず、いかせてあげられない。今後、生活保護費が引き下げられると心配。

53歳男性 生活保護利用者で、病気で通院しているが回復して就職活動中。週1回就労支援相談員と面談した際、以前就職してあわずに退職した企業を紹介されその旨伝えた。すぐに担当のケースワーカーから、「就職するつもりがあるのか。廃止も考える」と言われた。

60歳男性 年金は月4万円。預貯金約80万円あり、あと1年生活できるかどうか？「仕事を探しているが見つからない」元トラック運転手。

女性 看護師で、夜勤できずに外来勤務。外来縮小のため病棟勤務。常日勤でもOKと言われたが、数日して夜勤してもらわなければと、退職勧奨された。

27歳女性 介護福祉士として介護職場で5年勤務。3交替勤務で夜勤手当あり。「ケアプランを作らされ、残業手当もでない（持ち帰り残業もある）」「年休消化できない」

30歳女性 有期契約（5月20日）で雇い止めになる（月12万円の収入）。

46歳女性 働けなくなった時の保障はどうなるのか。病気あり、治療費5万円かかる。現在看護助手（委託業務）